

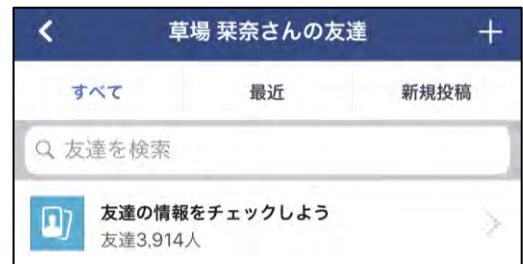
現役商業高校生がプロデュース

スーパーゲームセンターを訪日外国人へ

～私の4,000人外国人のフォロワー～

私は大阪に住む 18 歳の商業高校生です。私のクールジャパンストーリーは、「IR カジノ構想に頼らない、日本のエンターテインメントランド スーパーゲームセンター構想」です。日本のゲームセンターって、外国人には、暗い、怖い、ルールが分からないってイメージありますよね。だからこそ、「UFO キャッチャー」、「リズムゲーム」、「メダルゲーム」、「カードゲーム」を外国人でも気軽に楽しめる、そして、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに負けない、大阪の新しい魅力を提案します。

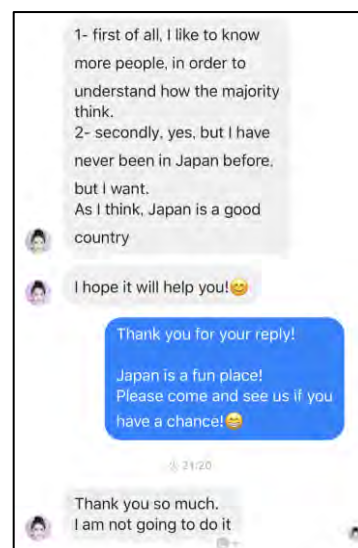
私には、現在 facebook に約 4,000 人のフォロワーがいます。私は、少し他の高校生とは、違って、このフォロワーのほとんどが、外国人です。ベトナムや台湾、ルーマニアの友人もいます。日本人は、100 人位です。どうしてそんなにフォロワーがいるって？



私は、普通の高校生です。有名な YouTuber のような、特技も技術もありません。facebook にあげている写真も、猫の写真だったり、作った料理やお菓子の写真だったり、たまに自分の洋服の写真を送ったりしているだけです。

ただ、一つだけこだわっていることは、「すべて英語で文章を打つ」ようにしています。だから日本人のフォロワーが少ないのかもしれませんが、ただ、正直英語は、得意ではありませんので、翻訳はアプリ任せではあります。

でも、アプリを使った文章でも外国の友人と長文のやり取りができます。へたに辞書をひきながら英語でコミュニケーションを取るよりも、**アプリの方がリズムカルにコミュニケーションが取れるので、私は絶対オススメです。**長い時には、1時間以上 facebook 上の友人が興味のある私の話をしています。向こうの友人が興味ある話題は、「私たちが普段どんな動画を見ているのか」、「最近お気に入りの料理・お菓子は何か」、「学校生活のことを教えてほしい」といった内容です。



◎私のフォロワーの紹介◎

Phạm Thị Thanh Vânさんに関する情報
ベンチェ出身
2018年9月に参加しました
247人がフォロー中

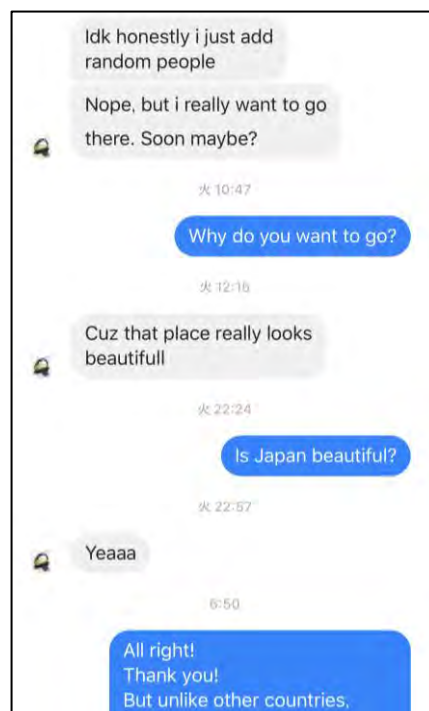
Deborahmwtさんに関する情報
Di Suatu Tempat Kerjaan karyawan
以前の勤務先: Sekolah Dan Belajar
出身校: Sekolahhan

私の生活に興味を持ってくれるだけで、嬉しいし、楽しいので、普段からそこに疑問を持つことは無かったのですが、ある日、先生にその話をしたら、「なぜそんなに草場さんのことを外国人が知りたいのか調べてみたら？ひよっとすると、大きな発見があるかもね。」と言われ、今回の「クールジャパン高校生ストーリーコンテスト」を紹介してもらいました。

私は、すぐにフォロワーに「なぜ私をフォローしたの」と聞いてみました。その理由に多かったのが、「日本の文化が好き」、「大きな理由は無い」といった理由でした。つまり何か特別な理由がある訳ではなく、**フワッとした日本の良いイメージに惹かれ、フォローしてくれた**ようです。もう一つ多かったのが、「共通の友人がフォローしているから。といった理由でした。

facebookには、共通の友人がいる場合、フォローをオススメする機能があります。つまり、日本人のフォロワーが多い外国人フォロワーは、私を登録している方が多いということが分かります。つまり、私の特徴のないツイートは、英語に翻訳しているだけで、多くの日本に興味のある外国人がフォローしてくれているということです。しかし、それで、フォロワー約4,000人は凄すぎると自分で改めて思いました。

私の中で、一つの仮説ができました。「もしかして、日本の高校生のことを知りたい外国人は、たくさんいるのに、私たち高校生のリアルタイムの情報源ってほとんどないんじゃないか。今の日本の高校生の生の声が聞きたいのでは。そして、日本で次にブームになるトレンドを知りたいのでは。」と。



そういえば、外国では、日本の漫画やアニメがブームになっています。回転寿司やラーメンもブームになっています。日本のマンガやアニメは翻訳されて海外で販売されています。寿司やラーメンも、海外で多くのお店があります。そして、日本の漫画やアニメの主人公は、ほとんどが、日本の学生です。特に高校生活が舞台の作品が数多くあります。また回転寿司やラーメンは、私たちに身近な食事です。そんな私たちにとってありの日本文化に対して、興味を持っているのではないのでしょうか。授業で、ポッキーやコアラのマーチのような、日本のお菓子が今世界でブームと聞きましたが、そんなコンビニお菓子は、私たち女子高生が、ムーブメントを作り出していると言えます。(うちの学校は商業高校で、大阪に本社がある伊藤忠食品株式会社と共同で商品開発をしているので、いろいろ教えてもらいました。)

わたしは、「日本の高校生のあたりまえの生活を、世界の人に知ってもらいたい。そして、それを新しい日本の魅力にしたい！」と考えました。

私は、学校の授業の中で、4月から「地域の観光資源を活かした観光プランを作ろう！」という授業をしています。

去年は、台風21号の影響で、近くの「鶴見緑地公園（花博記念公園）」に大きな被害があったので、授業の中で、記念公園に観光客を呼んで活性化を計ろうということで、クラスのみんなで、公園の1分間のPR動画を作りました。この動画を多くの人に見てほしいと考え、「大阪観光局」の魅力創造部の阪口寿子さんをお願いして、観光局のHP上へアップロードしてもらおう予定です。またこの動画は、YouTube上にもアップロードしています。

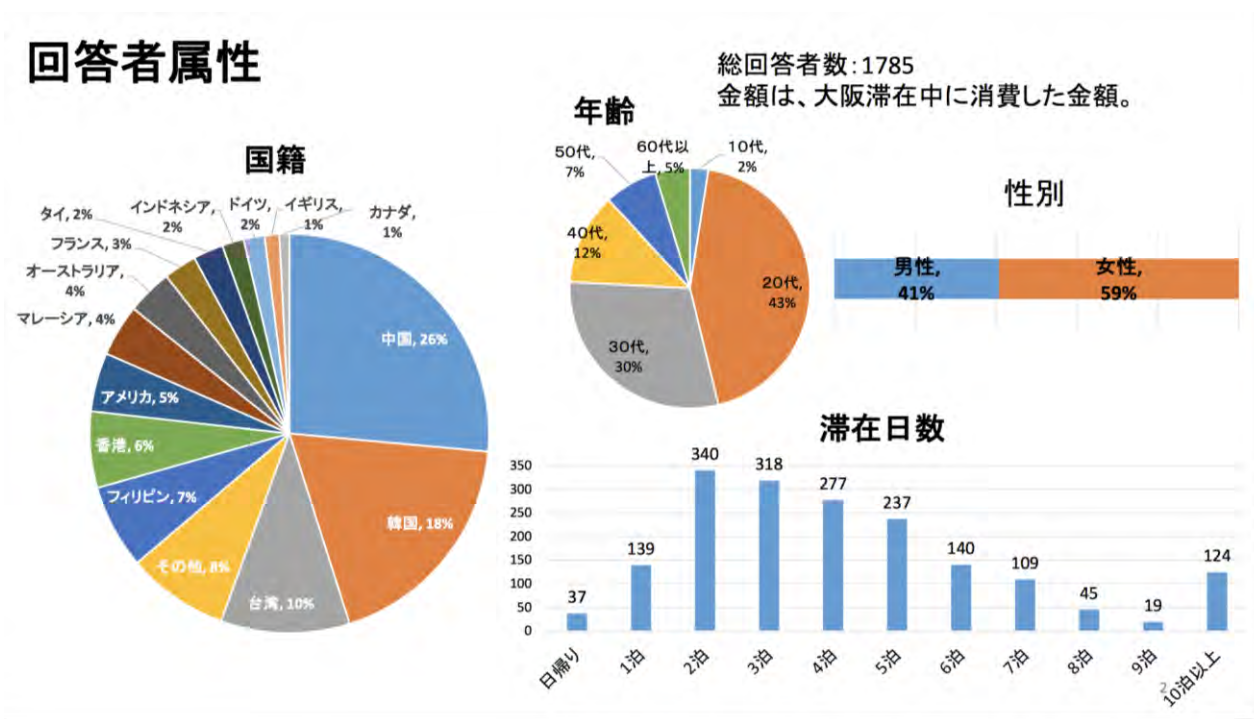


地域PR動画→<https://youtu.be/P2Ob8LzyXVc>

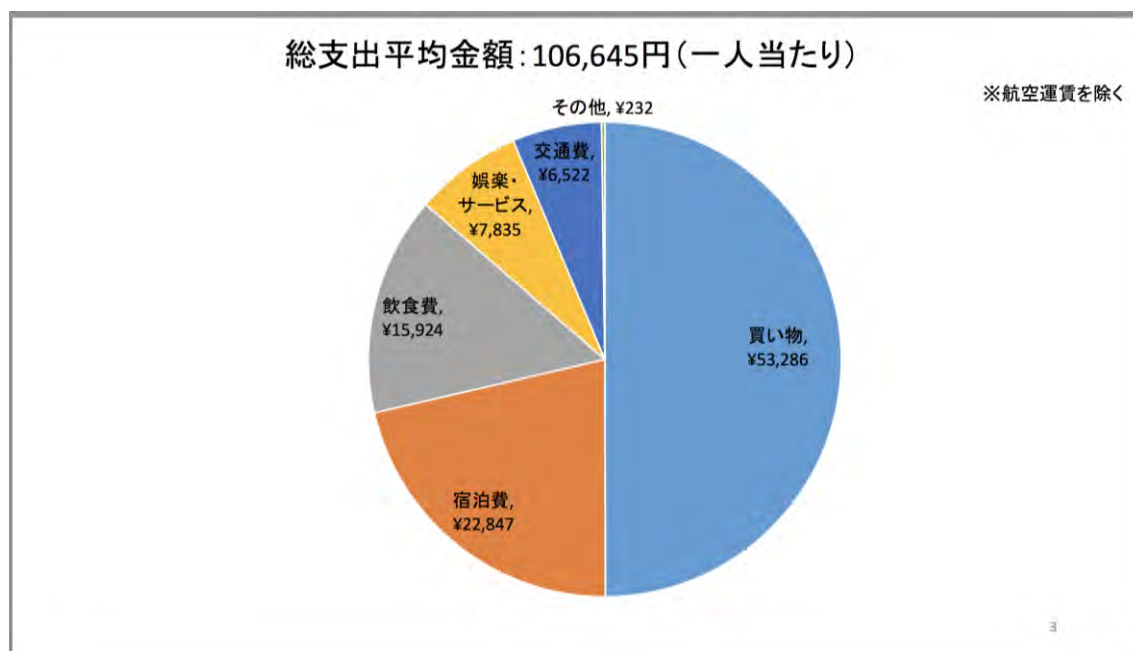
その繋がりもあり、観光局の阪口さんに、大阪に来る外国人観光客が、日本でどのようなことをしているのかを教えてくださいました。阪口さんからは、「来阪インバウンド消費額調査2017」という調査結果をいただきました。

それを見てみると、いろいろな面白いことが分かりました。

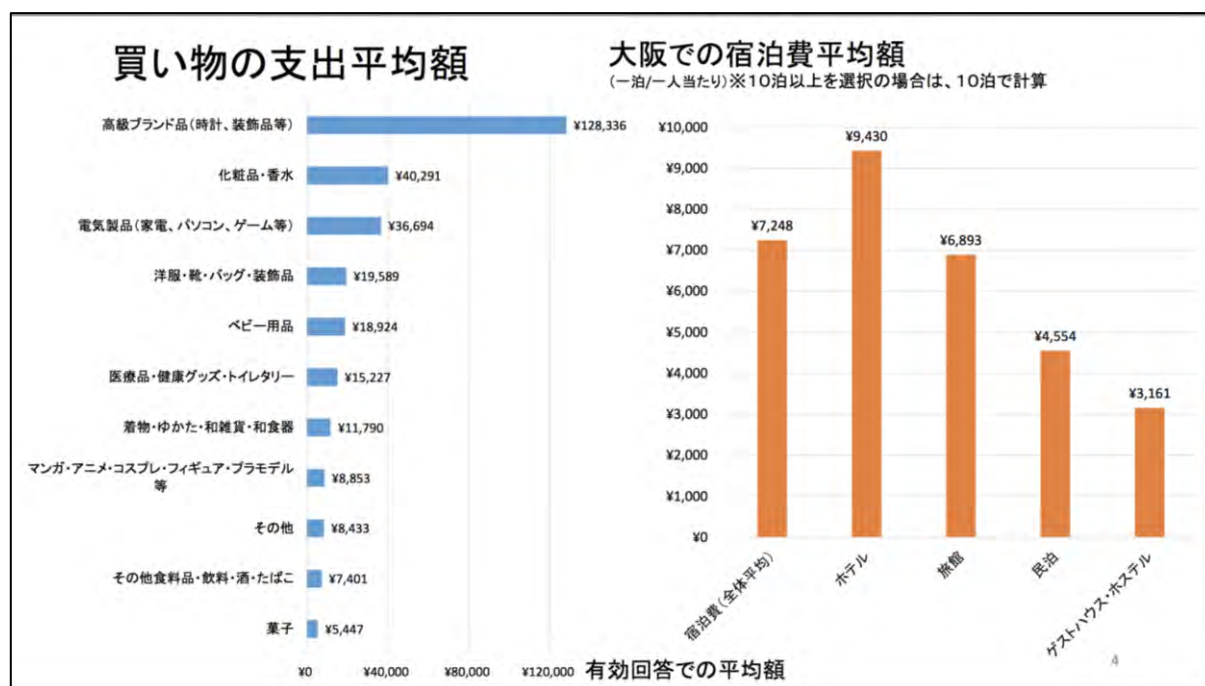
資料①



資料②



資料③



まず、大阪に来る外国人で、多い国籍は、中国が26%、韓国が18%、年齢は20代が43%、性別は、女性の方が多く59%でした。また滞在日数は、2泊と3泊が多いこと。総支出額は、買い物が約50%であること。買い物の支出額は、高級ブランド品と化粧品が多いことも分かりました。

このデータを見て、私が使っている化粧品のメーカーを聞かれたこと、メイクの写真に対して、リプライが多いことも思い出しました。また、宿泊費が平均 7,200 円と、みんな抑えていることが分かりました。

「外国人夜間動向調査」という資料を見せていただき、また面白いことが分かりました。この資料では、日本人観光客と外国人観光客を「Free WiFi」のログにより、分析しています。

資料④

■GPS分析

◆ ログ分析の前提について

➢ JW : ユーザーから利用の許諾を取得した、フリー-Wi-Fi接続時に取得される Japan Connected-free Wi-Fi(JW)アプリのログです。

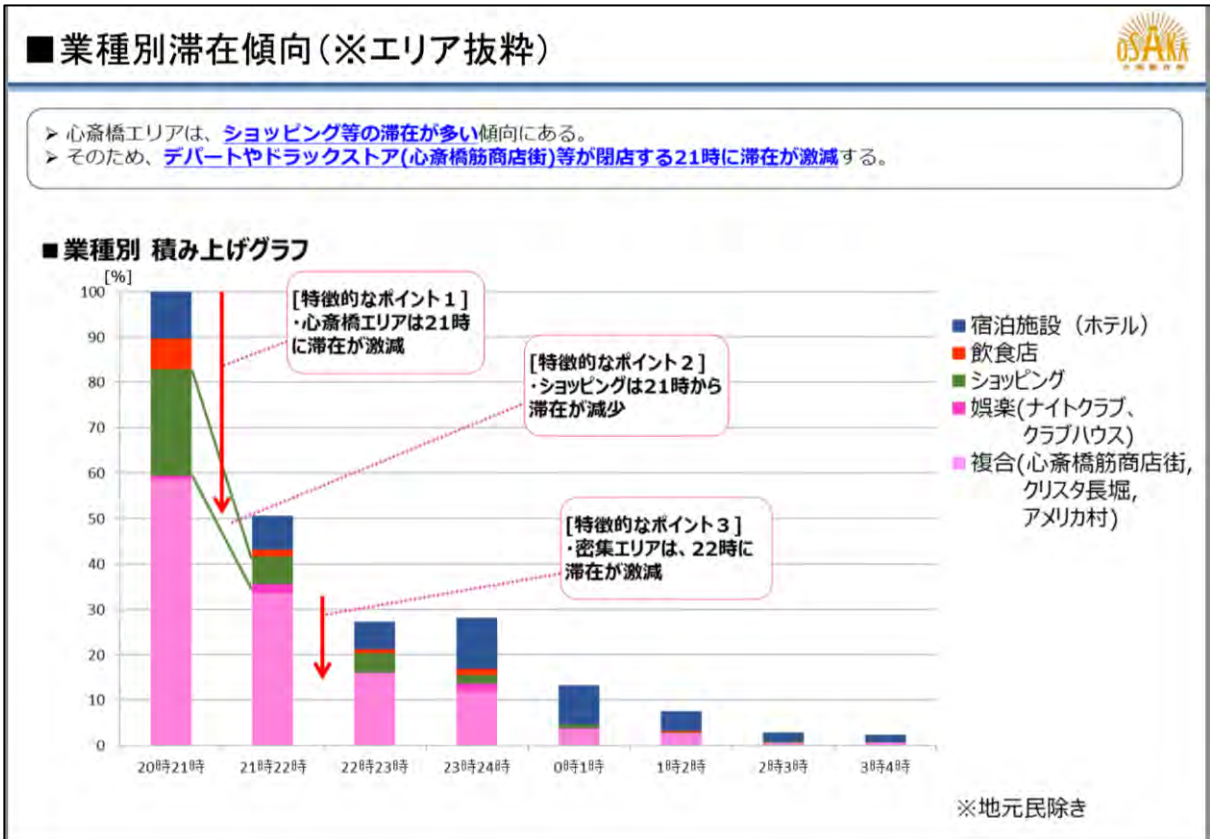
・分析対象としたログの期間 : 2015/8/1~2016/9/30

・ログの総数 : N=3,308,477件

資料⑤



資料⑥



資料⑦

▶ 夜間に滞在のある資源は、「**宿泊施設**」「**飲食**」「**ショッピング**」「**観光スポット**」「**風俗系**」であることが確認された。
▶ 早い時間(20-24時)からホテルの滞在が多い傾向があり、夜間経済活性化に向けては、**早くからホテルに滞在する観光客をホテルから出て回遊してもらうための検討が必要**。
▶ **飲食やショッピングは、営業時間に紐付いて滞在**があり、夜間経済活性化に向けてポテンシャルを有すると言える。
▶ 一方で、**夜間集客能力を有する観光スポットが少なく**、夜間に回遊するモチベーションに乏しいと考えられ、課題あり。

■大阪において夜間に滞在のある資源と滞在傾向(訪日外国人)

資源	滞在時間			
	20~22時	22~24時	0~2時	2~4時
宿泊施設(ホテル)	■	■	■	■
飲食	ラーメン	■	■	
	たこ焼き、お好み焼き、串かつ	■	■	
	ファストフード	■	■	
	ファミリーレストラン	■	■	
	バー、居酒屋等	■	■	
ショッピング	百貨店、ショッピングモール	■		
	家電量販店	■		
	ドラッグストア	■		
観光拠点	24h量販店	■	■	■
	展望(夜景)	■	■	
風俗系	■	■	■	■
24h公衆浴場等	■	■	■	■

■ : 滞りの多い時間帯
■ : 滞りのある時間帯

※ボーリング、カラオケは滞在があまり見られない

■考察

- 早い時間(20-24時)からホテルに滞在する観光客が多い
- 20-24時に滞在があり、夜間経済活性化に向けてポテンシャルを有する
- 24時間営業の量販店は、遅い時間まで滞在があり、夜間経済活性化に向けてポテンシャルを有する
- 展望(夜景)と公衆浴場は夜間の滞在があるが、夜間集客能力を有する観光スポットは少ない
- 少ないながらも、20-22時に滞在あり

Copyright © 2017 Osaka Convention & Tourism Bureau

上記の資料から、日本人観光客は、22時～24時の終電までは、大阪市内を観光しているのにも関わらず、外国人観光客は、この時間は、ホテルに滞在していることが分かりました。ショッピングが観光客の楽しみの中心であるため、店が閉まる時間以降は、心齋橋などの繁華街から観光客が減少することが分かります。

つまり、外国人は、この時間はほぼホテルで過ごしています。このことを私は、日本好きの友人にTwitterで聞いてみました。

すると、外国でのこの深夜時間は、危険であることや、交通手段が無くなること、深夜まで空いている店が少ないことから、遊びなれていないことを教えてもらいました。ホテルでウェブサーフィンや、ブログのチェックをおこなうことが多いそうです。

正直、外国と比べると、日本のこの時間は、電車も動いていますし、多くのお店が開いています。危険も外国に比べると少ないと思います。私たち高校生には、遅すぎる時間ですが、20代以上の外国人旅行客が楽しめる日本文化は何かないかと考えてみようと思いました。

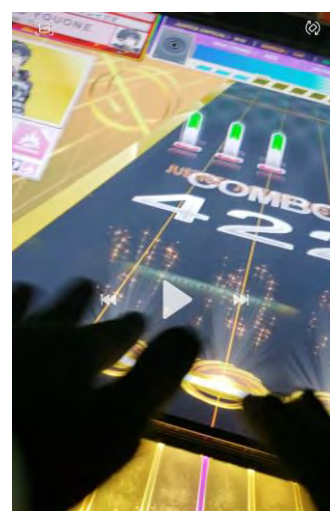
そこで、私は、同じグループの中嶋さんと吉村さんに今の高校生がハマっていることで、外国人にも教えてあげたい文化（習慣）は何か無いかと聞いてみました。すると、面白い答えが帰ってきました。それが、タイトルにある「ゲームセンター」です。

特に中嶋さんは、毎日「リズムゲーム」の練習にゲームセンターへ通っているようです。

そこで、3人でゲームセンターについて話してみると、日本のゲームセンターは、ショッピングモールにあるファミリー向けや、繁華街にある暗いイメージの玄人向けの2種に分かれるという話になりました。

そして、私たちは、ゲームセンターの調査をするために、学校近くの「イオンモール鶴見緑地店」と「心齋橋・難波の商店街」を見に行くことにしました。

ちなみに、右の写真は、中嶋さんのプレイ中の写真です。凄く上手でした。私も「UFO キャッチャー」が大好きです。



この2箇所の調査から分かったことは、「両方とも観光客は入りにくいだろうなぁ〜」ということです。

まずファミリー向けのゲームセンターは、イオンモール自体が、駅から遠いところにあり、観光客がいないこと。またファミリー向けのため、子ども向けのメダルゲーム、UFOキャッチャー（店員を呼ぶシステムあり）が多く、初めて日本に来た観光客には敷居が高いと思いました。

また繁華街のゲームセンターは、中嶋君は、この暗い雰囲気が良いと言っていますが、暗く、狭く、来ている人も悪そうに見えてしまう雰囲気があります。（→中嶋君は、クラスでも明るくとても優しいです。）



もちろん、プリクラを利用する外国人は多いと思いますが、観光客が集まる繁華街こそ、もっと外国人に特化したゲームセンターがあっても良いと考えました。

そこで、商業高校生の私が提案するのが、

「IRカジノ構想に頼らない、日本のエンターテインメントランド

スーパーゲームセンター構想」です。

具体的には、または、舞洲や夢洲のような USJ に近い場所に、巨大な外国人向けゲームセンターランドを作ることです。日本中のカチャガチャを集めたら、外国人が集まったように、日本のすべてのアミューズメントゲームを集めた場所を作れば、人気が出ると考えています。また操作方法を多言語で翻訳したマニュアルの設置、多言語に対応したヘルプデスクの設置、景品を海外に発送でき、荷物も預かるコンシェルジュを配備すれば、大阪がシンガポールのような一大アミューズメント地区に生まれ変わるのではないかと考えています。

今日本は、2020年の「東京オリンピック」の開催、そして、大阪は2022年の「大阪万博」の開催と大きく諸外国に向けて、門戸を広げようとしています。

そんな今だからこそ、私は前述したカジノに頼らない、ゲームセンターを利用した日本のエンターテインメントランド「スーパーゲームセンター」を提案し、クールジャパンとして世界に広めていきたいと考えています。

◎大阪の未来（カジノに頼らないIR構想）



↑写真は、「関西経済同友会 HP」から転用させていただきました。

参考資料

「来阪インバウンド消費額調査 2017年」（大阪観光局）

「外国人夜間動向調査」（大阪観光局 マーケティング室）

「私達の取り組み 統合型リゾートの実現」（一般社団法人 関西経済同好会）